



平成  
16年度

# 到津の森公園基金 & 動物サポーター支援者様へ



新しい仲間やパートナーが増えてうれしいです わたしたちのご飯を1年間支援してくれてありがとう



到津の森公園基金に36件1,685,946円の支援が寄せられました。


うち法人24件1,475,946円(平成11年度からの累計42,829,189円)  
平成16年度に初めて基金を取り崩し、キリン「マリア」の購入と北海道からライオン「キング」の輸送費として4,987,500円使用しました。残りは平成17年度以降の動物の導入等のために積み立てています。


動物サポーターに1,470件 20,843,080円の支援が寄せられました。


うち法人・団体サポーター155件15,389,080円。  
平成16年度の動物のエサ代等として19,236,677円使用し、残りは、積み立てて平成17年度以降の動物のエサ代等として役立てたいと考えています。

## 動物のエサ代 約1,726万円支出


里のいきもの館が完成し、支援動物も増え、約100種550頭の1年間のエサ代です。主なものは、


 ゾウ2頭で1日で主に乾草40kg、青草8束、笹15kg、ペレット(固形飼料)16kg、ヘイキューブ(干し草固形飼料)10kgで 年間約400万円。

 チンパンジー6頭で1日で主にキャベツ3kg、サツマイモ4kg、ニンジン4kg、バナナ3.5kg、リンゴ2kg、オレンジ2kgで 年間約200万円。

 ニホンザル40頭で1日で主にキャベツ5kg、サツマイモ4kg、ニンジン4kg、バナナ3kg、リンゴ3kg、オレンジ3kgで 年間約160万円。

 ライオン3頭で1日で主に丸鶏6kg、牛レバー1kg、馬肉2kgで 年間約150万円。

 トライオン1頭で1日で主に丸鶏2kg、馬肉2kgで 年間約50万円。

 キリン2頭で1日で主に木の枝2kg、カトルーサン(干し草を切ったもの)4kg、圧ペントウモロコシ(フレーク状のトウモロコシ)6kg、ペレット(固形飼料)4kgで 年間約200万円

その他、ゾウやレッサーパンダのために竹を定期的に提供いただいたり、米などの穀類や新鮮な野菜・果物を提供いただきました。秋には、ドングリ動物サポートとして多くの方に、たくさんのドングリを提供いただきました。米は、サルたちの冬の暖をとるためのおやつとしておにぎりにして与えています。ドングリはサルや鳥たちのおやつとして提供でき、台風による倒木の影響を受けずにすみました。また、飼育スタッフとボランティアによるエサとり(新鮮な野草や雑草を刈りエサとして使用)などで、里のいきもの館完成後動物数が増えたのですが、全体のエサ代を昨年並みに節約することができました。

このような動物サポーターによるみなさんの支援により経営に左右されない、動物たちに安定したエサの提供ができています。



いつも新鮮な竹をありがとうございます

## 動物の薬代 約68万円支出

当園の動物たちの健康を守るための薬等を購入し、園内の動物の健康管理や治療、検査などで使用しました。

## 会員への情報郵送料、動物サポーター刻銘版、基金刻銘版、認定証、記念品等 約130万円支出

クラブネットに登録していない方に年2~3回園情報を郵送しています。サポーターズニュース発行費用と園情報、収支報告書を送る費用です。経費を節約するために同世帯の会員様には1通の情報提供とさせていただきます。

また、サポーターの法人・団体名や基金の寄付者を園内に掲示するための刻銘版作成やファン感謝祭、会員更新時の記念品などを支出しました。



平成  
16年度

# 友の会の会員様へ

わたしたちの環境を1年間支えてくれてありがとう



環境いいから  
赤ちゃんいっぱい  
産まれたよ



友の会に**3,751件 12,113,000円**の支援が寄せられました。  
平成16年度の動物を中心とした動物園事業に**12,113,000円**全額を使用させていただきました。動物たちへの優しい環境維持に役立っています。



## 獣舎の光熱水費 約1,227万円支出

園でかかる光熱水費は約2,126万円です。

電気代973万円のうち**約535万円**が動物獣舎関係の経費です。動物の健康状態を維持するために照明はもちろん空調や床暖房、ヒーターや流水のためのポンプ類などで使用されています。動物を飼育するために必要な経費です。

水道代1,153万円のうち**約692万円**が動物獣舎関係の経費です。ゾウ、トラのプールやフラミンゴ、アヒル、バードケージの池、アライグマ、チンパンジー等サル類の流水の維持に使用しています。その他の多くは、獣舎清掃などに使用しています。獣舎清掃は、毎日かなり多くの水を使用しますが、当園では新幹線の湧水をポンプで汲み上げて使っており、通常の上水使用よりも節約されています。

平成15年度と比べて、里のいきもの館などの新しい施設が増え

、新しい動物たちが仲間入りしたにもかかわらず現状並の支出となっています。



## 獣舎の環境維持・改善約221万円支出

動物の獣舎周りの修繕・改善、動物パドック周りの修繕・改善に使用しました。

夏は日陰などの対策、冬は暖をとるための対策、繁殖期には巣となる材料や小屋など、日々、動物たちに優しい環境・施設へと改善しております。この優しい環境の中で動物たちはのびのびと生活し、平成16年度は多くの赤ちゃんにも恵まれました。また、個々の動物の行動にあわせた改善にも努めています。動物の本来の行動が自然と見られるような展示の工夫にも取り組みをはじめています。エリマキツネザルなどは、密林にいるような仕掛けが加わりまた、チンパンジーは道具を使ってエサを取るしぐさなどが見られたりします。このように友の会の皆様の会費による支援が、経営に左右されない動物たちの飼育環境の維持・改善に役立っています。



## 会員への情報郵送料、会員証等 約118万円支出

クラブネットに登録していない方に年2~3回園情報を郵送しています。サポーターズニュース発行費用と園情報、収支報告書をおくる費用です。経費を節約するために同世帯の会員様には1通の情報提供とさせていただきました。

その他、リーフレットの作成や会員証、ファン感謝祭や会員更新時の記念品などを支出しました。また、友の会独自の特典の追加も平成17年度より開始し、サービスの向上に努めています。